

# 114學年度第一學期「專題競賽」

担当教員：陳瑜霞、榊祐一

1. 日期：2026 年 1 月 2 日 (五)
2. 地點：L008
3. 競賽流程：

時間	活動
12:30-12:50	報到
12:50-13:00	開會式(主任挨拶、評審紹介、規則説明、等)
13:00-13:05	発表会説明、準備など
13:05-14:00	競賽(1-6組) ※6組
14:00-14:10	休息時間
14:10-15:05	競賽(7-12組) ※6組
15:05-15:15	休息時間
15:15-16:00	競賽(13-17組) ※5組
16:00-16:10	休息時間・成績計算
16:10-16:15	評審講評
16:15-16:20	頒獎(各隊前五名)
16:20-16:25	閉幕(主任)

## 4. 発表について

### 4-1. 発表内容とやり方について

- 各專題研究グループはPPTを作り、專題研究の成果を発表してください。発表はグループのメンバーが一人ずつ順番に行う形にしてください<sup>1</sup>。
- 專題研究グループのメンバーの一部が海外職場研修などで発表会に出席できない場合、残ったメンバーで発表を行ってください。

<sup>1</sup> 「108 學年度入學生於期末考週(暫訂)辦理專題口頭發表。各專題小組製作 PPT, 由成員輪流報告專題成果, 並由系上全體教師擔任評審委員。口頭發表及評分方式另訂實施要點。重補修「專題研究(二)」者因未參加口頭發表, 成績以 70 分為滿分計算。專題研究口頭發表為了檢視學生的學習成效, 指導教師不得進行指導。專題發表競賽前三名必須代表本系參加教育部全國技專校院學生實務專題製作競賽。」(「日間部 - 專題研究實施規定(20250620 系務會議修訂通過)」七)。リンクは上に同じ。

- 先生(指導教員以外も含む)の指導は受けなくて下さい。指導を受けたことが分かった場合、減点します。

#### 4-2. 発表時間と順番について

- 発表時間:7-8 分鐘(不得少於 7 分鐘, 及超過 8 分鐘, 時間超過或不足, 評審委員得斟酌扣分)。

第一部 (13:05 - 14:00)	
1	台南にある日本式建造物とその技法
2	日本の神怪文化
3	日・台民間信仰文化の比較研究 南鯤鯓王爺の遶境と京都祇園祭を例として
4	蒼鷺の囁き：生命・死・成長の旅
5	ルルフの冒険譚
6	九州方言
第二部 (14:10 - 15:05)	
	日本遊戯機
8	鏡の真実
9	神社與台灣廟宇之探討研究
10	琴乃芸者育成物語
11	バッグ吊り飾りの社会現象調査報告
12	日本方言研究
第三部 (15:15 - 16:00)	
13	台湾における日本料理の本土化と文化の変化
14	お互いに借りた一枚の羽
15	無印良品在臺灣市場成功的因素
16	最後のドルイド
17	魚井

※順番は申し込み順です。

#### 4-3. 発表の評価について

- 発表の審査員は本系専任教員が担当します。
  - 評分項目は以下の通りです。
    - ① 簡報形式(含版面配置、文字協調性、顔色配置、段落格式など) 30%
    - ② 簡報内容(是否完整描述專題内容) 30%
    - ③ 日語表達能力(口語表達流暢度、發音、文法、語調) 30%
    - ④ 組員進行簡報的配合度、協調性(不得看字稿)、服裝、儀態 (10%)
- 
- ① 発表内容 30%
  - ② 発表形式(PPT) 30%
  - ③ 日本語 30%
  - ④ 儀態 10%

※ 108 學年度以後入學生, 本專題競賽總分佔「專題研究 2」總成績 30%。

※ 何か疑問がある場合は、榊(sakaki@stust.edu.tw)に質問してください。